

令和8年度も「わくわくいっぱい 笑顔の副田小」をめざします

校長 川添 正和

4月9日(木)の入学式で11名のかわいい1年生を迎え入れ、令和8年度は、児童数64名、教職員数18名(兼務含む)でスタートしました。

本校では学校教育目標「自ら考え みんなと学び 心豊かにたくましく生きる副田の子を育成する」をもとにキャッチフレーズを「わくわくいっぱい笑顔の副田小」として、たくさんのわくわくで笑顔になるような副田小にしていこうと思います。そのために令和8年度の実践の重点としては「授業に主体的に取り組んでいる80%以上」、「みんなで何かをするのは楽しい90%以上」を子供たちが実感するようにします。また、「重大事故0」を目標に安全・安心な学校をめざします。

本校区は、面積1473ha、東に藺牟田池と愛宕山、南に八重山を望み、北西に川内川が流れる豊かに自然に囲まれた地域です。700年の歴史を有する入来温泉、県下3番目に古い「田の神様(たのかんさあ・県指定)」があり、きんかん栽培が盛んです。校区内には県立川薩清修館高等学校、入来公民館や入来グラウンド・体育館、入来文化ホール等の教育・文化施設、高齢者福祉センター、入来会館等の福祉文化関係施設なども多数あり、教育・文化・福祉の中心となっています。地域の方々の学校への関心は高く、登下校の交通安全を地域の方々や青パト隊で見守る態勢も整っており、地域で子供をはぐくむ気風が高いところです。

このような恵まれた環境の下で、今年度も「魅力ある学校づくり」をめざします。子供たちが安心・信頼し、励まし、認め、高め合う「魅力ある学級」。子供が問いをもち、「できた!」「わかった!」を実感する、子供が主人公となる「魅力ある授業」。なりたい自分になる、自分が自分を好きになる、笑顔が似合う「魅力ある人」。各家庭と連携しながら、スクールガードや学校応援団の方々とのつながり、副田地区コミュニティーと一体となった「魅力ある家庭・地域」。これら「魅力ある学校づくり」の実践で、キャッチフレーズ「わくわくいっぱい笑顔の副田小」をめざします。どうぞよろしく願います。

